

# 自己評価書

平成22年4月

神戸薬科大学

# 目 次

I	大学薬学部の実況及び特徴	1
II	目的	3
III	総括	5
IV	自己点検・評価書作成のプロセス	7
V	基準ごとの自己評価	9
	『理念と目標』	
1	理念と目標	9
	『教育プログラム』	
2	医療人教育の基本的内容	13
	（2-1）ヒューマニズム教育・医療倫理教育	
	（2-2）教養教育・語学教育	
	（2-3）医療安全教育	
	（2-4）生涯学習の意欲醸成	
	（2-5）自己表現能力	
3	薬学教育カリキュラム	24
	（3-1）薬学教育モデル・コアカリキュラムの達成度	
	（3-2）大学独自の薬学専門教育の内容	
	（3-3）薬学教育の実施に向けた準備	
4	実務実習	34
	（4-1）実務実習事前学習	
	（4-2）薬学共用試験	
	（4-3）病院・薬局実習	
5	問題解決能力の醸成のための教育	48
	（5-1）自己研鑽・参加型学習	
	『学生』	
6	学生の受入	51
7	成績評価・修了認定	57
8	学生の支援	59
	（8-1）修学支援体制	
	（8-2）安全・安心への配慮	
	『教員組織・職員組織』	
9	教員組織・職員組織	73
	（9-1）教員組織	
	（9-2）教育・研究活動	
	（9-3）職員組織	
	（9-4）教育の評価／教職員の研修	
	『施設・設備』	
10	施設・設備	92
	（10-1）学内の学習環境	
	『外部対応』	
11	社会との連携	98
	『点検』	
12	自己点検・自己評価	106

# I 大学薬学部の現況及び特徴

## 1 現況

(1) 大学薬学部・薬学科名

神戸薬科大学薬学部・薬学科

(2) 所在地

神戸市東灘区本山北町4丁目19番1号

(3) 学生数、教員及び職員数（平成21年12月31日現在）

学生数 1,212名

教員数 80名

職員数 40名

## 2 特徴

本学の母体は昭和5年に神戸以西で初の女子薬学教育機関として創立された神戸女子薬学校であるが、神戸女子薬学専門学校として開校した昭和7年を本学の創立の年としている。昭和24年には、戦後の学制改革によって、新制の神戸女子薬科大学へと昇格した。大学昇格時には薬学科のみであったが、施設の拡充や教授陣容の強化に努め、学科の増設、大学院薬学研究科（修士課程、博士後期課程）の設置を経て、教育・研究体制が整備され、薬学部と薬学研究科を持つ単科薬科大学として、社会に貢献できる優れた女子薬剤師を多数輩出してきた。その後、社会情勢の変化に対応して、平成6年には男女共学制の導入により神戸薬科大学と改称し、また平成18年には6年制薬学部に移行し、現在に至っている。この間、社会に送り出した卒業生は15,000名に上り、薬剤師の資格や職能を生かして広く社会に貢献している。

本学は、男女共学制への移行を機に、社会に開かれた薬科大学として、医療人としての使命感、倫理観と高度な薬学の知識を身につけた薬剤師、並びに教育・研究者の養成と、地域の医療と環境問題に目を向けて健康の維持・増進にも貢献できる拠点となることを新たに大学の理念として掲げている。その実現に向けて、施設・設備面の環境整備が着々と進められ、教育・研究の充実を図ってきた。教育面では近年重要性の増してきた医療薬学分野の強化に努めてきた。平成8年には、他の薬系大学に先駆けて、モデル薬局を備えた医療薬学総合研修センターを開設、また平成9年には大学院において、薬学専攻内に6か月の病院研修を含む医療薬学コースを設置、また社会人を対象とした昼夜開講制医療薬学コースを開講し、平成14年には薬学専攻と医療薬科学専攻の2専攻制とした。さらに、6年制薬学教育への移行に際し、実務実習事前学習や薬学共用試験に対応するために新教育棟を建設し、十分なスペースを有する実習施設、模擬薬局、スモールグループディスカッション（SGD）用演習室やコンピューター演習室、薬学臨床教育センターを設置し、また医療薬学系教員、実務家教員の強化に努めるほか、現職薬剤師の協力も得て、実践型の薬学教育の充実を図っている。一方、研究面では、私立単科大学施設としては大規模を誇る動物実験施設、アイソトープ実験施設や先端の機器が完備した遺伝子情報解析室、分子構造解析

室など施設・設備の充実が図られており、平成11年から10年間にわたり神戸薬科大学ハイテク・リサーチ・センター整備事業が行われるなど、全学的に活発な研究活動が展開されている。

また本学は、社会に大きく開かれた大学という大学の理念に基づいて、永年にわたり『卒後教育講座』、『リカレントセミナー』、『薬剤師実践塾』など薬剤師の生涯研修に取り組んできた。これら本学の生涯研修支援事業と本学同窓会支部研修会の実績が高く評価され、平成19年に『有限責任中間法人薬剤師認定制度認証機構』より生涯研修認定制度の実施団体として西日本で初めて認証（G07）を受けた。これに伴って、薬剤師に広く学習する機会を提供するために、生涯研修を推進する組織としてエクステンションセンターを設置し、種々の先駆的な事業を活発に展開している。また平成18年には、文部科学省の『特色ある大学教育支援プログラム（特色 GP）』が採択され、〈実践型薬学教育による臨床指導薬剤師養成〉についての取組を大学院修士課程で実施している。一方、平成19年には、創造的・先端的研究拠点を協力して形成し高度専門職業人を養成するとともに、医療産業都市神戸における地域貢献に寄与する目的で、神戸大学と連携協定を締結した。これによって、本学学生と神戸大学医学部学生の合同演習科目でチーム医療教育を行うなど、学生や教職員の交流が行われている。さらに、平成21年には、神戸大学と共同で文部科学省の『大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム』に申請した取組〈医薬共同による創薬・育薬を担う医療人の養成を通じた私立・国立大学間の連携〉が採択され、薬剤師レジデント教育プログラム、医療生涯研修支援プログラム、学部授業科目の共同開発などに取り組んでおり、大学連携によって医学・薬学分野におけるより高度な教育を目指している。